

経営比較分析表（令和元年度決算）

山口県 宇部市

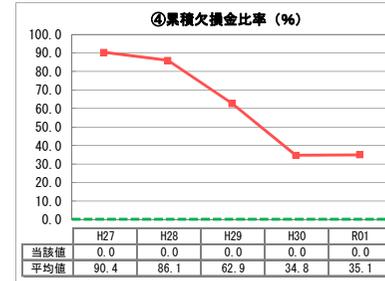
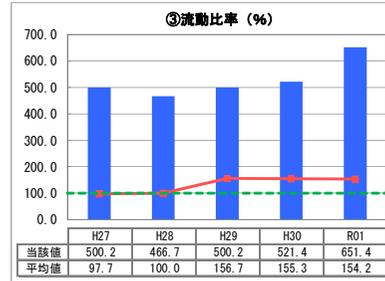
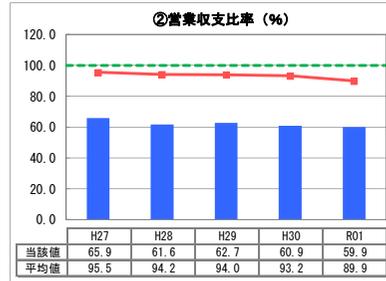
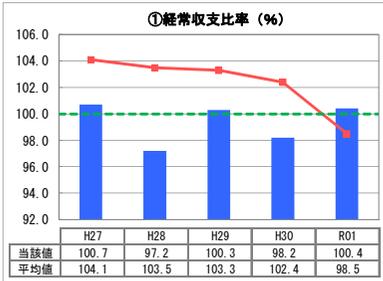
業務名	業種名	事業名	管理者の情報
法適用	交通事業	自動車運送事業	自治体職員
資金不足比率（％）	営業路線（km）	年間走行キロ（千km）	在籍車両数（両）
-	200.7	2,366	74
職員数（人）	管理の委託割合（％）	民間事業者の有無	地域公共交通網形成計画策定の有無
111	-	有	有

	H27	H28	H29	H30	R01
年間輸送人員（千人）	2,574	2,497	2,417	2,343	2,256
他会計負担額（千円）	227,191	234,120	231,106	209,067	206,623

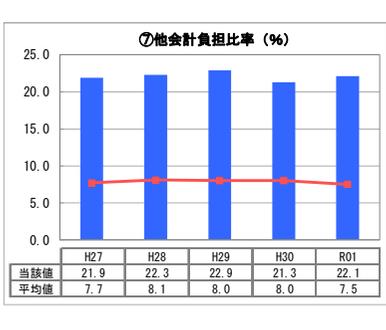
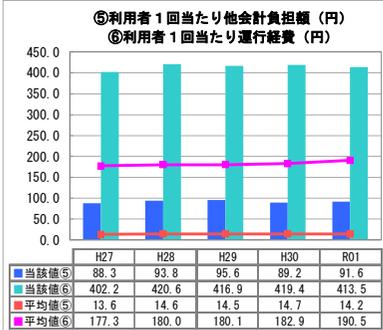
※民間事業者の有無とは、行政区域内で民間バス事業者が運行しているかどうかを指す。

1. 経営の健全性

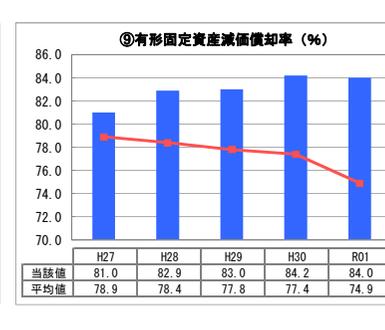
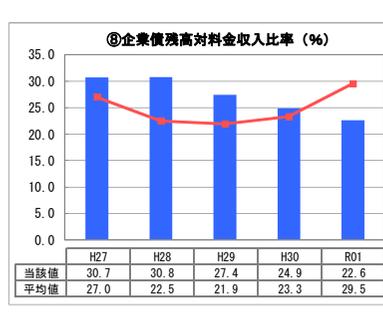
○事業の状況



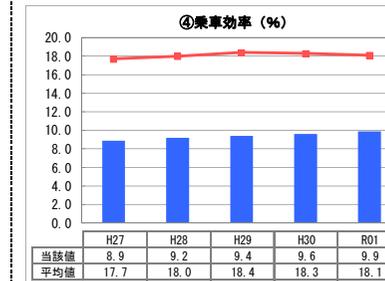
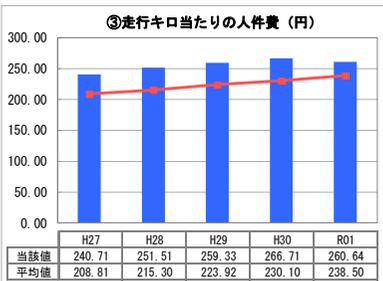
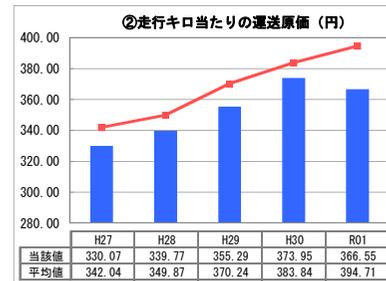
○独立採算の状況



○資産及び負債の状況



2. 経営の効率性



※民間事業者平均値は当該団体が所属する標準原価ブロックの民間平均値

分析欄

1. 経営の健全性について

令和元年度においては、経常収支比率は増加し、営業収支比率は減少している。これは、前年度から引き続き、運転士不足の改善が見られず、貸切バスの受注体制が整わなかったことにより、貸切自動車収入が減少した一方、その他事業において、新規運行ルートでのデマンドバスを受注したことにより、営業外収益が前年度と比較し改善したことが要因である。したがって、安定した事業収益の確保のため、引き続き運転士の確保に重点的に取り組む必要がある。

2. 経営の効率性について

走行キロ当たりの収入及び乗車効率については、路線再編による不採算系統の減便や時刻変更の効果が見られ、改善傾向にあるが、民間事業者や他団体と比較すると依然として低水準であり、引き続き路線の最適化による利便性及び効率性の向上を図っていく必要がある。また、近年上昇傾向であった運送原価については、人件費の縮減等により減少に転じている。しかしながら、依然として民間事業者に比べ高い状況であるため、引き続き給与水準の適正化に取り組む必要がある。

全体総括

人口減少、少子高齢化が進む中、新型コロナウイルス感染症の拡大により輸送人員が減少し、感染終息後も含め市民の行動が変容・定着していくことが予測される。このような状況を踏まえ、「使いやすく、持続可能な地域公共交通網」を維持するため、中長期的な経営計画に基づき、事業の健全化に向けた事業運営を展開していく必要がある。